

昭和23・24年調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

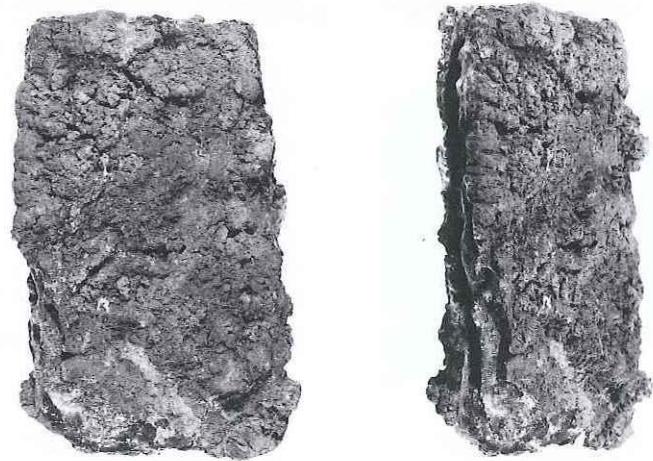
昭和23(1948)年12月22日～23日
昭和24(1949)年2月7日～8日

だれが（調査した人）

川上久夫 岡本勇

調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ242番 1
調査面積 25㎡
調査原因 学術調査
主な遺構 住居址
主な遺物 弥生土器片多数・石器数点・鉄製品(鉄斧)
特記事項 多量の弥生土器片が包含された黒色土下部のローム面に、住居址の床面や炉址が構築されており、その付近より検出されたもので、時期的には弥生時代の遺物としてよいであろう。この鉄斧は長さ1.5cm刃幅5.5cm、中央部での厚さ1.5cmを測る。刃先は錆で肥厚しているが、厚さ0.5cmの先端の刃部はおそらく鋭利であったと考えられる。(参考文献：『三浦市赤坂遺跡』・昭和52(1977)年11月)



出土した鉄斧（明治大学所蔵）
(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第2集』・1992年3月)